

事業所名		児童発達支援 ぽるりる				支援プログラム（参考様式）				作成日		令和8	年	3	月	31	日	
法人（事業所）理念		見る、聞く、触れる、経験する活動を通して、子どもの一人ひとりの「できる」を育む																
支援方針		児童一人ひとりの発達特性に応じ、五感を活かした体験・学びの場を提供することで、生活習慣・運動・認知・言語・社会性の五領域に沿った発達支援を提供をする。 ・午前は発達初期段階の児童を中心に45分個別療育を基本とする ・午後は発達段階に応じて個別療育および小集団活動を組み合わせる ・作業療法士の専門的視点を取り入れ、運動・感覚・空間認識を育てる支援を実施																
営業時間		10時30分から16時45分まで				送迎実施の有無		あり なし 片親支援：送迎										
		支 援 内 容																
本人支援	健康・生活	・基本的な生活習慣の形成（手洗い、排泄、着脱など） ・身辺自立支援による衣服や靴の着脱、ボタン・ファスナー操作、トイレ動作・手洗い食具の使用、持ち物整理整頓などを体験を通して学ぶ ・姿勢保持や日常生活動作の向上 ・活動の切り替え支援生活リズムの安定 ・あいさつややりとりの習慣化（おはよう、こんにちは、さよなら、ありがとうなど） ・見る・聞く・触れる・経験するプロセスを通し、生活感覚や自己認識を育む																
	運動・感覚	・バランス活動・体幹運動 ・感覚遊びや身体操作活動 ・姿勢コントロール ・手指の巧緻性や動作の発達 ・遊びの中で空間認識を育む（手元・足元を見て身体を促すビジョントレーニングにアプローチ） ・感覚統合を意識した環境で、身体と空間の関係を理解する																
	認知・行動	・課題活動・模倣遊び・マッチング遊び ・指示理解・見通しを持つ活動 ・遊びや活動を最後までやってみる気持ちを育てる ・問題解決の支援 ・経験からの学びを通じて判断力・計画性を育成 ・空間認識・手元足元の操作を伴う課題で、目と手の協応を促す ・オリジナルリトミック活動で音やリズムに合わせて体を動かす ・手や足の位置、周囲の空間を意識して身体操作 ・模倣や順序を守ることで遊びながら学ぶ力を育む																
	言語 コミュニケーション	・発語促進・指差し・模倣遊び ・要求表出やりとり遊び ・コミュニケーション能力の育成 ・視覚・聴覚・触覚を通じた情報獲得で、非言語から言語への発展を支援 ・小集団遊びで順番理解や会話のキャッチボールを体験																
	人間関係 社会性	・小集団活動・ルール遊び ・順番理解や共同活動 ・感情表出の支援 ・他児との関わりを通じた社会性の育成 ・観察・模倣・体験を通じて社会的空間認識を理解																
家族支援		・保護者との定期面談や記録共有 ・家庭での支援方法や遊び方の助言 ・日常生活での見守り・声かけの工夫支援 ・児童の成長や課題を保護者と一緒に確認し、家庭での支援の一貫性を確保						移行支援		・保育園・幼稚園・小学校入学前の準備支援 ・見学や体験活動を通じた環境慣れ ・日常生活や集団活動に必要なスキルの習得 ・新しい環境で安心して過ごせるよう、段階的に社会参加の力を育成								
地域支援・地域連携		・地域の保育園・幼稚園、医療・福祉機関との情報共有 ・必要に応じた専門機関との連携や相談・地域イベントや交流活動への参加を を通して、社会性や人間関係の幅を広げる ・他施設とのネットワークで支援の質向上を図る						職員の質の向上		職員は定期的な研修や勉強会、事例検討会に参加し、発達支援知識や技術を習得する。また、日々の記録や振り返り、スーパービジョンを通じて支援方針を検討し、個々の児童に適切な支援を提供できるよう務める。								
主な行事等		・親子参加型体験（手遊び・リトミックなど） ・七夕会（笹飾り作り・願い事体験） ・夏まつりごっこ（小集団活動で順番やルールのある遊びを学ぶ）						・ハロウィンイベント（仮装・制作・ごっこ遊び） ・秋の自然観察遊び ・クリスマス会・制作活動										